

## 楽器博物館友の会 第14回 学芸員との夕べ コンサート&交流会 「ギターで愉しむ イギリスの古い音楽」



ハーブ・リュート・ギター

楽器博物館友の会は、平成14年に博物館を応援してくださる市民の方により発足しました。当館活動への積極的な参加のほか、年に2回のコンサートや学芸員との交流会開催、会報の発行などの活動を行っています。

第14回目となる「学芸員との夕べ」は、コンサートと交流会の2部構成です。コンサートはロンドン在住で世界的ギター奏者の竹内太郎さんをお迎えし、「グリーンズリーヴス」による即興演奏、「エジンバラから一マイル」、カバリエリ作曲「フィレンツェの歌」などを演奏していただきました。

使用した楽器は当館所蔵のバロック・ギター（ドルブランク派、フランス、1760年頃）、キタラ・バテンテ（シュタードラー作、1624年）、ハーブ・リュート・ギター（ハーレー作、ロンドン、1810年頃）です。これらの中には、普段は館内に展示している楽器もありますが、竹内さんに調整をしていただいて、演奏できる状態になりました。特に、ハーブ・リュート・ギターは、現在世界でも5台ほどしか残っておらず、その中でも演奏できる楽器はこの1台だけだそうです。ハーブ・リュート・ギターは1790年～1800年頃に発明され、名前の通りハーブを小さくしたような形をしています。当時のイギリスではハーブが市民階級の女性のたしなみとして演奏されており、ハーブ・リュート・ギターは手ごろな大きさのため、旅行などに持っていくのに便利だということ

大変流行したのだそうです。竹内さんの素晴らしい演奏と、当時のイギリスや楽器にまつわる様々なお話を交えた、充実したコンサートとなりました。普段、聴くことのできないバロック・ギターやハーブ・リュート・ギターの素朴であたたかな音色に、会員の方々も終始聴き入っていらっ

しやいました。そして、会場を研修交流センター5階に移し、会員の方と当館職員、コンサートに出演していただいた竹内さんも加わり、交流会を行いました。友の会会長挨拶、乾杯、館長の挨拶と職員の自己紹介と続き、出演者の竹内さんにもお話していただきました。会員の方と職員が軽食を囲みながら歓談する場面も至る所に見られ、交流を深めることができました。

楽器博物館にとって、友の会の存在はとても大きな支えとなっています。日頃のサポートに感謝の気持ちを持ちつつ、今後も会員の皆さんがさらに楽器博物館に親しんでいただけるよう、交流を深めていきたいと思ひます。

日時：平成29年2月11日（土）

出演：竹内太郎

演奏会：楽器博物館 天空ホール 17:45～18:45

入場者：98人

交流会：研修交流センター52室 19:00～20:30

参加者：66人

## 演奏入門 初心者ワークショップ

# 「ガムラン入門インドネシア中部ジャワの宮廷楽器を演奏しよう！」



日 時：平成 29 年 2 月 4 日（土） 18:30 ~ 21:00

会 場：楽器博物館 展示室

講 師：風間純子（民族音楽研究・南山大学講師）

受講者：20 人

民族音楽研究をされている風間純子さんをお迎えして、初心者向けのガムランのワークショップを開催しました。ガムランはインドネシアを代表する楽器です。今回は展示している中部ジャワのガムランを使用しました。

ガムランで使用する楽器は「ゴング」「サロン」「ボナン・バルン」などそれぞれに名前があり、それらで演奏することをガムランといいます。また、ガムランで演奏する音楽のこともガムランといいます。

ガムランに初めて触れる方も多くいらっしゃいましたので、楽器や音階についての簡単な説明もしていただきました。簡単なリズムを練習してから「マニャル・セウ」という曲に挑戦しました。ガムランでは西洋の五線譜ではなく数字譜を用いますが、楽譜を見るより覚えてしまったほうが音楽としても心地いい、ということでほとんど楽譜を見ずに、風間先生が口ずさむ音とリズムを覚えながら演奏していきました。色んな楽器を交代しながら体験し、時にはお互いに教えあいながら繰り返し練習していきました。楽器に慣れるまでは自分のことで精一杯ですが、風間先生がクندانという太鼓でテンポを速くしたり、遅くしたり、終わる合図を出したりすると、それに合わせて演奏できるほど周りの音を聴きながら演奏できるようになりました。

皆さん笑顔で楽器と向き合っていて、とても充実したワークショップでした。

## 演奏入門 初心者ワークショップ

# 「クندان入門ガムランで指揮者の役割をする太鼓を演奏しよう！」

ガムランワークショップに引き続き、風間純子さんをお迎えして、インドネシアの太鼓クندانのワークショップを開催しました。クندانはジャワ・ガムランの中でアンサンブル全体をまとめる指揮者の役割をする楽器です。大きなクندانをアグン、小さなものをクティプンといい、2つの太鼓を同時に使って演奏します。クندانだけでなく、ジャワ・ガムランを初めて聴く方もいらっしゃいましたのでガムランについても少し解説していただきました。

ワークショップではクندانの調律から体験しました。音を高くするには皮についている紐を締めて皮を強く張ったり、木槌で鼓面の縁を叩いたりして調整します。また、音を低くするには鼓面の中心を強く押すだけでも高さが変わりますが、さらに濡れた布で湿らせて皮を緩めて調節する方法も教えていただきました。演奏する準備が整ってから、基本となる4つの音の出し方から学び、簡単なリズムから徐々に難しいリズムを覚えました。慣れてきたところで「マニャル・セウ」という曲での叩き方を教えていただき、風間先生が演奏するガムランのメロディに合わせてクندانを叩きました。初めは覚える事が多く、あまり余裕がありませんでしたが、最後にはクندانでテンポを早くする合図や演奏を終了する合図ができるほど上達しました。

クندانのワークショップは今回初めての開催となりましたが、「とても楽しかった」とお客様から感想をいただきました。



日 時：平成 29 年 2 月 5 日（日） 13:30 ~ 15:30

会 場：アクトシティ浜松 研修交流センター 37 室

講 師：風間純子（民族音楽研究・南山大学講師）

受講者：10 人

## ミュージアムサロン 「アフリカの楽器～親指ピアノとバラフォン～」



バラフォン

日 時：平成 29 年 2 月 11 日 (土) 14:00、15:30 (各 30 分)  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：ロビン・ロイド  
入場者：108 人

様々な地域の民族楽器を演奏するロビン・ロイドさんをお迎えして、アフリカの親指ピアノとバラフォンを演奏していただきました。

親指ピアノはアフリカ大陸の中でも南の地域で使われている楽器で、カリンバやサンザなど色々な呼ばれ方があります。親指ピアノの即興演奏では会場を歩きながら演奏し、お客様も手拍子しながら音楽を楽しみました。バラフォンはアフリカの木琴で、今回は普段展示しているコンゴの楽器を使用しました。音を響かせるために音板の下にはヒョウタンが付いています。このバラフォンで「夫婦喧嘩」を題材に大喧嘩から仲直りするまでを音で表現し、まるで本当に夫婦が会話しているような演奏に聴き入りました。

演奏後には体験できる楽器も用意していただき、多くのお客様が楽器に触れていました。大人も子供も楽しめるコンサートとなりました。

## ミュージアムサロン 「バロック・ギターとハープ・リュート」

国際的ギター奏者の竹内太郎さんをお迎えして、当館所蔵のバロック・ギター、キタラ・バテンテ、ハープ・リュートを演奏していただきました。どれも17～19世紀の大変貴重な楽器です。

バロック・ギターは動物の腸からできたガット弦が張られていますので、金属弦に比べて優しい音色がします。次に登場したキタラ・バテンテは金属弦が張られていて、バロック・ギターにくらべて余韻が長く豊かな響きがしました。そして、ハープ・リュートは前者に比べて音域も広く、ハープのような音色がする楽器で、それぞれの音の違いを楽しむことができました。当時の楽譜も見せていただきましたが、コードネームのみでリズムが書かれていません。ほとんど即興のようなもので、曲を知らないで弾けないのですが、当時の文献を見ていくと曲を復元できるとのお話に驚きの声があがりました。

美しいバロックの調べに聴き入ることのできるミニコンサートでした。



ハープ・リュート

日 時：平成 29 年 2 月 12 日 (日) 11:00、14:00 (各 30 分)  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：竹内太郎  
入場者：109 人

## 博学連携プログラム 市内中学校と特別授業を開催



館長講話

日 時：平成 29 年 1 月 26 日 (土) 9:30～15:00  
会 場：楽器博物館 天空ホール、研修交流センター 36、37 室  
講 師：田上知穂 (聖隷クリストファー中・高等学校教員)  
嶋和彦 (当館館長) 梅田徹、松尾圭子 (当館学芸員)  
対 象：聖隷クリストファー中・高等学校 中学 1 年 50 人

浜松市にある私立聖隷クリストファー中・高等学校の中学 1 年生を対象とした特別授業を行ないました。この特別授業は本年度で 8 回目の開催で、楽器を通して音楽だけでなく世界の文化や生活を知る事が目的です。

「館長講話」「展示楽器の調べ学習」「インドネシアのアンクルン体験」「アフリカの親指ピアノ体験」の 4 つの授業を行いました。館長講話では管楽器の歴史、音が出る仕組みをたくさんの楽器を使いながら説明しました。展示楽器の調べ学習では生徒が事前に楽器について調べてきたことを展示品の前で発表していきましました。そして、アンクルン、親指ピアノの体験ではそれらの楽器が使われている地域について学び、実際に楽器に触れ、初めて奏でる楽器の音に耳を傾けました。説明を受けながら熱心にメモをする姿も見られ、大変充実した特別授業になりました。



**楽器博物館**  
Musical Instrument Museum  
Hamamatsu City, Japan

# イベントスケジュール 2017.4 - 2018.3 平成29年～平成30年

※スケジュールは中止、変更、追加になる場合がありますので、必ず事前に博物館にご確認ください

## 展覧会

### 特別展 「耳をすませば浮世絵に、文明開化の音がする」

7/23(日)～8/31(木) 共催：浜松生涯学習音楽協議会

江戸、明治期の浮世絵に描かれた西洋音楽を演奏する日本人の姿、そこから始まる日本の西洋音楽の道とは？

講座「音の響き～絵師たちの見た西洋楽器～」

8/4(金) 19:00～21:00 1,000円 展示室  
講師：澤崎真幸(東京大学大学院名譽教授)



### 企画展 「小さな可愛い世界旅行～人形・切手の楽器たち～」

11/3(金・祝)～1/10(水)

「楽器を持った人形」  
「楽器を描いた切手」が  
世界から大集合。  
人形と切手で世界旅行を！



## レクチャーコンサート (一般)2,500円 (学生)1,000円

\*コンサートのチケットは原則として公演2ヶ月前より発売します

### 美しい水の祭典～オンド・マルトノ六重奏のサウンドスケープ～

5/3(水) 14:00 アクトシティ浜松コングレスセンター41会議室

演奏：原田 都(ハラダタカシ) 香橋若菜 久保智美  
坪内浩文 細村唯彦 大矢素子

ロシアの作曲家として知られ、20世紀において生まれた電子楽器の傑作オンド・マルトノ、その不思議で魅力的な美しい音色を味わっていただく。メシアン作曲のオンド・マルトノ六重奏曲「美しい水の祭典」は、日本の演奏家20位以内の必聴。



### 熱狂のホローボ～南米コロンビア平原の歌・楽器・ダンス～

後援：コロンビア大使館

7/6(木) 19:00 楽器博物館天空ホール

演奏：シマロン(コロンビアより来日 7人編成)

コロンビア、オリノコ川流域平原地帯の音楽「ホローボ」は、アメリカ大陸発祥。アフリカ系の人々、そしてスペイン・アンデス山脈地方の音楽のルーツが融合した音楽。激情的な音楽も人々、マリヤの叫びた舞律、万葉のリズムも、多岐にわたる楽器で表現されている。



※このほか、東南アジアの伝統楽器、フランスの狩猟ホルン、韓国のにまり等を企画中です

## 講座・ワークショップ

### 講座 東西の中の聖と俗「音楽に息づく民族のプライド」(全4回)

各回1,000円 展示室

多様な文化が交錯し、異種を奪ってさかすかに民族の誇りが育ち、歌い合っている。百年前の中東コソボ、アフガニスタン、トルクメニスタンから、そしてフランスとスペインの国境にシネー山脈の少数民族オクシタン地方にバスク地方から紹介する。

#### I 中央アジアの楽士たち

12/4(月) 19:00 ウズベキスタン

12/18(月) 19:00 トルクメニスタン

#### II ビレネー山脈の少数民族

1/15(月) 19:00 南仏オクシタン地方

1/29(月) 19:00 南仏バスク地方

### ワークショップ 「小さな尺八「一節切」を作って演奏しよう!

8/26(土) 13:30～16:00 研修交流センター 500円 小学3～6年生・15人

一節切とは、尺八の1/8、その半分よりさらに二割が一つの口の小さな尺八。数百年前から伝来する土産楽器の呼び名として愛用された。有名な一節切人も演奏した。このワークショップでは、竹筒から一節切を作り演奏してみる。

※このほか、「ガムラン」「チャンゴ」「タンバリン」「ジャズ舞踊」等のワークショップを企画中です

## 5月のミュージアムサロン

※入館者はどなたでもお聴きいただけます



5/4 (木)

**リードオルガン**  
鈴木 園(オルガン)  
名倉美天子(ソプラノ)

5/4 (木)

**ハーモニカ**  
宮田 薫(ハーモニカ)  
金山 賢彦(ピアノ)

5/6 (土)

**ハモンドオルガン**  
流野 仁

5/3 (水)

**バンジョー&アコーディオン**  
堀川友則(バンジョー)  
保田真子(アコーディオン)



5/5 (金)

**テルミン&マトリョミン**  
竹内正実 マトリョミンサンプル  
「Marble & Da」



## 博物館日誌

- 1/8 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア) 参加者：43人
- 1/9 (月) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう!」 10:30、11:30、13:00  
地下展示室 指導：ポランディア 参加者：29人
- 1/15 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤楽器) 参加者：28人
- 1/16 (月) 楽器の中の聖と俗「鳥と人間の音楽交流」第1回 19:00  
楽器博物館展示室 講師：西岡信雄 参加者：28人
- 1/22 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤楽器) 参加者：52人
- 1/26 (土) 特別授業 聖隷クリストファー中・高等学校 中学1年 9:30～15:00 展示室  
講師：田上知穂 (聖隷クリストファー中・高等学校教員)、梅田徹、松尾圭子 (当館職員) 生徒：50人
- 1/29 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤楽器) 参加者：27人
- 1/30 (月) 楽器の中の聖と俗「鳥と人間の音楽交流」第2回 19:00  
楽器博物館展示室 講師：西岡信雄 演奏：青木佳那 参加者：31人
- 2/1 (水) ～2/3 (金) 移動楽器博物館 浜松市立光明小学校
- 2/4 (土) 楽器体験ワークショップ「ガムラン入門」 18:30 楽器博物館展示室  
講師：風間純子 参加者：20人
- 2/5 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤楽器) 参加者：74人
- 2/5 (日) 楽器体験ワークショップ「クワンダ入門」 13:30  
アクトシティ浜松研修交流センター 講師：風間純子 参加者：10人
- 2/11 (土) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう!」 10:30、11:30 地下展示室  
指導：ポランディア 参加者：17人
- 2/11 (土) シリーズ音楽の広場「アフリカの楽器」14:00、15:30 天空ホール  
出演：ロビン・ロイド 入場者：108人
- 2/11 (土) 楽器博物館友の会コンサート「第14回芸員との夕べ」  
コンサート「ギターで楽しむ イギリスの古い音楽」17:45 入場者：98人  
交流会19:00 参加者：66人
- 2/12 (日) ミュージアムサロン「バロック・ギターとハーブ・リュート」  
11:00、14:00 天空ホール 出演：竹内太郎 入場者：109人

2/13 (月) 楽器の中の聖と俗「鳥と人間の音楽交流」第3回 19:00

楽器博物館展示室 講師：西岡信雄 参加者：34人

2/19 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アフリカ) 参加者：53人

♪ギャラリートーク1月 計96回 参加者：1,079人

## これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説 ※催し物により変更もあります
- ギャラリートーク 毎日数回 展示品の解説を行います
- 講座  
2/27 (月) 楽器の中の聖と俗「鳥と人間の音楽交流」19:00 楽器博物館展示室  
講師：西岡信雄 演奏：中野振一郎、羽賀美歩、森本英希、村田佳生、吉岡秀和、東摩耶、中川敦史、野田祐子、池田源輝
- 楽器体験ワークショップ  
3/2 (木) 「チャンゴ入門」19:00 楽器博物館展示室 講師：リ・チャンソプ  
3/3 (金) 「ケンガリ入門」19:00 楽器博物館展示室 講師：リ・チャンソプ
- ミニコンサート 14:00、15:30 天空ホール  
3/19 (日) 「クラシック&エレクトリック」出演：水野まな、白月紬、小池真梨 (当館職員)
- レクチャーコンサート  
5/3 (水) 「美しい水の祭典～オンド・マルトノ六重奏のサウンドスケープ～」  
14:00 アクトシティ浜松 コングレスセンター41会議室  
出演：ハラダタカシ、久保智美、坪内浩文、市橋若菜、大矢素子、田村玲彦

浜松市楽器博物館だより 平成29年2月26日発行 No.116 編集 浜松市楽器博物館  
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1  
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 URL <http://www.gakkihaku.jp/>